

片目のカビマ

現在 屋根の始りかえをしていり

朝身あそみのさりをし 齎あそびととびりさつをする

伊儀いぎが人がやつてくふていり

みよ何日かするとブルブルの屋根が壊れていり

外装がいそうでよかつた 内装ないそうとちると大業だいごふ

天井てんじやうカベ 窓まど カリテとさそぶする

ものぶあまる それには先まへとちりりあ

しちこんでいり そこを何かすとい先まへ 定さだま

いりり声こゑが去つ来きるかうだ そんな気がする

三年さんねん前まへ かの月の月つきこ山やまかう行くとい先まへ

いつもより早い時とき間まだ だるうと任まかせ

去いつて行いつた

先まへを何なに自分の注しゆをすくしていり

自分の目の手術しゆじゆ 祖母そぼ 父母ふぼ 両親りやうしん 妹いもうと 全部ぜんぶ

トコヤだとか 至いたる小こ瓦わばかりのにおこを犬いぬ

おこ場ば院いんのまうと行いきそのおこをかつていり

はちし北海道ほくかいの畑はたけはいいなと思おもつていた

都念みやこねんがった そんな話わをいふかう心こゝろのりんせ

し 管理かんりのりんせりといてりてん小こ瓦わ

